

Web 演習 I 授業ノート 第3週

第6章 ページ

6 - 1 <body> bgcolor, text, background 【HTML 4 奨励】

<body bgcolor="☆">	背景色
<body text="☆">	テキストの色
<body background="☆">	背景画像

複数の属性を同時に指定（半角スペース区切り）

```
<body background="☆" bgcolor="★" text="□">
```

色の指定 p.302-309

RGB（赤緑青）それぞれの強さを 16 進数 2 桁で表現

頭に必ず # をつける（16 進数を表す）

名前で指定できる色もある

例) <body bgcolor="#ffffff">	背景色を白に
<body bgcolor="#000000" text="#ff0000">	背景色を黒に、文字色を赤に
<body bgcolor="blue">	背景色を青に

画像の指定 【HTML 4 奨励】

表示したい画像の場所（URI、一般には URL）を指定する

授業ではすべての画像ファイルを images フォルダに入れること

例) <body background="images/bg.gif"> images フォルダ内の画像 bg.gif を背景画像に

※背景画像を表示するときは、画像の色と似た背景色を同時に指定しておく。背景画像のデータがダウンロード・表示されるまでの間もページの雰囲気は損ねない。あるいはいきなり背景画像が表示されたときのショックをなくす。また、ユーザが画像を表示しない設定にしている可能性がある

6 - 2 <div> align 【HTML 4 奨励】

ブロック内の配置を指定

<div align="left">～</div>	左寄せ（初期値）
<div align="center">～</div>	センタリング
<div align="right">～</div>	右寄せ

6 - 3 <center> 【HTML 4 奨励】

<center>～</center> センタリング

6 - 4 <h1>, <h2>, ..., <h6> align 【HTML 4 奨励】

<h1 align="left">～</h1> 左寄せ（初期値）

<h1 align="center">～</h1> センタリング

<h1 align="right">～</h1> 右寄せ

6 - 5 <p> align 【HTML 4 奨励】

<p align="left">～</p> 左寄せ（初期値）

<p align="center">～</p> センタリング

<p align="right">～</p> 右寄せ

6 - 6 <hr> p.59

<hr> size, width, align, noshade,color 【HTML 4 奨励】

水平線

例) <hr>	段落のテーマ区切り（水平線）を表示
<hr size="5">	サイズ（高さ）を 5 ピクセルに
<hr width="100">	幅を 100 ピクセルに
<hr width="70%">	幅を 70%に
<hr width="200" align="left">	幅を 200 ピクセル、左寄せ（左右位置の初期値は center）
<hr size="8" noshade>	サイズ（高さ）を 8 ピクセル、立体的な影を付けない
	※noshade 属性は、属性名を記述するだけで機能する
<hr color="green">	カラーを緑に

第7章 フォント

7 - 1 size, color 【HTML 4 奨励】

～ 文字サイズ

☆…1～7（初期値は 3）、相対指定（+3 や -1 のように基準のサイズとの足し算・引き算による指定）

例) 文字サイズを 5 に

 文字サイズを 3 段階大きく（初期値から足すと 3+3=6 と同じ）

 文字サイズを 1 段階小さく（初期値から引くと 3-1=2 と同じ）

～ 文字色

☆…色指定（16 進数または色名）

7-2 p.62

注意を引くテキストを表す。**太字**で表示される。

※W3C の非推奨要素ではないが、見た目を指定する目的の要素（物理要素）は使用しないことが好ましい

7-3 <i> p.65

声や雰囲気を表すテキストを表す。斜体（イタリック）で表示される。

※日本語を斜体にすると画面上では読みにくい

※W3C の非推奨要素ではないが、見た目を指定する目的の要素（物理要素）は使用しないことが好ましい

7-4 <u> p.65

注釈が必要なテキストを表す。下線（アンダーライン）が表示される。

※リンクと間違えるおそれがある

7-5 <s> p.64

すでに正確ではなくなった内容を表す。取消線が表示される。

7-6 <tt> 【HTML 4 奨励】

等幅テキスト

補足 タグのネスト（入れ子）

「きょうはいい天気でした」という文字列の“いい天気”を太字にして同時に斜体にする場合

- きょうは<i>いい天気</i>でした
- × きょうは<i>いい天気</i>でした

「あすも晴れるといいな」という文字列の“晴れ”を文字サイズ 5 にして文字色を赤にし、同時に太字にする場合

- あすも晴れるといいな
- × あすも晴れるといいな

※<開始タグ>～<終了タグ> は、他の <開始タグ>～<終了タグ> の完全に外側か、完全に内側でなくてはならない

※との入れ子のように、文法的にどちらが内側でもよい場合、短いタグを内側に記述する傾向がある

Web 演習 I 授業ノート 第3週

課題 04

ファイル名	wp04.html
D T D	HTML 5
タイトル	色指定
背景色	#ccccff
文字色	#000033

- ①ページ全体の背景色、文字色を設定する

背景色 : #ccccff 文字色 : #000033

- ②見出し1を設定し、センタリングする

色を指定するには

- ③本文に段落を設定する

HTML で色を指定するときは、赤緑青の三原色の強さを 16 進数で指定します。

- ④汎用ブロック (div) を設定し、右寄せにする

つづく

課題 05

ファイル名	wp05.html
D T D	HTML 5
タイトル	欲しいもの
背景画像	wp05_bg.gif
背景色	#cccccc
文字色	#000000

- ①ページ全体の背景画像、背景色、文字色を設定する

背景画像 : images/wp05_bg.gif 背景色 : #cccccc 文字色 : #000000

- ②本文に段落を設定する

私がいま~しようかな。

- ③改行を設定する

- ④太字を設定する

iPod

- ⑤下線を設定する

iPod nano の黒

課題 06

ファイル名	wp06.html
D T D	HTML 5
タイトル	文字サイズ
背景色	#0f332d
文字色	#ffffff

①ページ全体の背景色、文字色を設定する

②見出し、段落、改行を設定する

見出し 1 : 文字サイズの指定 (センタリング)

見出し 2 : 絶対指定

相対指定

段 落 : サイズ 1～サイズ 7

サイズ-2～サイズ+4

③文字サイズを設定する

サイズ 1 は size="1"、サイズ-2 は size="-2" のように指定。指定なしは何も指定しない

課題 07

ファイル名	wp07.html
D T D	HTML 5
タイトル	文字色
背景色	#ffffff
文字色	#000000

①ページ全体の背景色、文字色を設定する

②見出し、段落、改行を設定する

見出し 1 : 文字色の指定 (センタリング)

段 落 : 文字色 #ff0000～文字色 #cc33ff

文字色 olive～文字色 silver

③個別の文字色を設定する

文字色 #ff0000 は color="#ff0000"、文字色 olive は color="olive" のように指定

④水平線を設定する

1 つめの段落を閉じた後、2 つめの段落が始まる前に

⑤水平線を設定する

2 つめの段落を閉じた後に

幅 70%

課題 08

ファイル名	wp08.html
D T D	HTML 5
タイトル	夏休みの宿題（毎日の天気）
背景色	#ffffff

- ①背景色を設定する
- ②段落、改行を設定する
- ③文字サイズを 1 段階下げる

8 月 31 日

- ④文字サイズ、文字色、太字を設定する

晴れ

文字サイズ : 5 文字色 : #ff3300

●エラーについて ～HTML4 と HTML5～

【HTML 4 奨励】のタグが含まれているファイルにおいて文法チェック (<http://validator.w3.org/>) を行った場合、「Use CSS instead」というエラーが出ることもある。

これは HTML4 時代には使われていたが、新しい規格「HTML5」では奨励されない記述があると発生するエラーである。(タグに直接記載するサイズや文字色などの装飾属性が対象になることが多いが、ブラウザでの表示には問題ない。)

しかし、現在でも HTML4 規格で書かれているページは多数存在するため、未来の Web エンジニアとしては、上記で説明した装飾関係の属性の使い方を始めとした、「HTML5」では奨励されないが HTML4 時代には頻繁に使われていた記述についても学んでおく必要がある。

(LPI-Japan が主催する「HTML5 プロフェッショナル認定資格」においても、試験範囲に入っている)

従って、【HTML 4 奨励】のタグを使用した箇所のエラー「Use CSS instead」については、気にしないで提出をすること。

(※他のエラーが出る場合は、違う部分で間違いがあるため、修正すること。)